



手と手

やさしさ
100パーセント



第13回曾於市社会福祉大会福祉ポスター 小学生の部 最優秀賞

作品名「つながる心の手と手」 つながり合う心の手と心の手

曾於市立諏訪小学校 6年 うち たくま 拓磨さん

理念 人と人とのつながりを大切に 地域と共に歩む

主な内容

第13回曾於市社会福祉大会	P 2~6
ほっとぼらんていあ「災害ボランティアセンター支援活動」	P 7
一般介護予防事業「健康体操教室」	P 8
心配ごと相談所・弁護士による無料福祉相談のお知らせ	
歳末たすけあい募金助成事業「お掃除サポート事業」	P 9
寄付金報告・今後の行事予定	P 10

発行 / 社会福祉法人 曾於市社会福祉協議会
曾於市財部町南保 504 番地 1 (財部保健福祉センター内)
TEL:0986-72-0460・0480 FAX:0986-72-0425
E-mail:sohokubu-shakyo@dream.ocn.ne.jp
情報紙「手と手」は、本会のホームページでもご覧になれます。
URL:<http://soo-shakyo.or.jp/>

この情報紙は、地域住民の皆様からの社会福祉協議会費を財源に発行しています。



社会福祉大会

～ あなたらしく わたしらしく 生きるために ～

- 平成 29 年 8 月 27 日（日）末吉総合センターで、第 13 回曾於市社会福祉大会を開催しました。
多年にわたり社会福祉の向上に尽力された方々の功績をたたえとともに、地域の担い手として、医療・保健・福祉関係者、住民ボランティア等の主体的な参加のもと、市民が一体となった曾於市の福祉のまちづくりの推進を図りました。

人権啓発講演会



落語家 三遊亭歌之介氏
演題「人生一席新」

地域福祉拠点づくり活動報告



最優秀福祉作文・福祉ポスター表彰





第13回 曾於市

みんなで築く ふくしまのまち



開会のあいさつ



開催趣旨朗読



表彰者謝辞



代表受賞者



成者市長表彰、福祉作文及びポスター表彰が行われました。受賞者を代表して、桐野ナヨ様が謝辞を述べられました。

曾於市長寿クラブ連合会会長表彰（敬称略）

長年にわたり、役員として貢献された方 3 名

長谷川弘和 山形 安夫 黒木美智子



8020 達成者市長表彰（敬称略）

80 歳以上で 20 本以上の歯をもち、歯と口の健康づくりの模範となる方 16 名

前山カズ子	花牟禮イツ子	東 政一	永山 實秋	湯之上フヂ子
東丸スミ子	谷口 温	坂元 フミ	吉留 利則	加治木敦子
酒匂 茂巳	加塩 洋子	徳丸 光秀	吉永ハツミ	中古代里子
東別府一子	徳留 重男	末鶴 光夫	稲森 スミ	谷川 善明
竹内 娃子	高木 政子	牧元 宝治		



奨励賞 15 名

光神小学校 6 年	牧原 紋香	光神小学校 5 年	山田 一輝
光神小学校 4 年	地主園和奏	光神小学校 4 年	柞木 琉衣
櫛小学校 4 年	佐多 望	高岡小学校 3 年	丸野 琉空
恒吉小学校 6 年	馬方 七穂	曾於高等学校 2 年	上橋 和哉
曾於高等学校 2 年	桑原 歩聖	曾於高等学校 2 年	永田 翔太
曾於高等学校 2 年	福丸 有斗	曾於高等学校 2 年	若松 優稀
曾於高等学校 2 年	室田 一成	曾於高等学校 2 年	小田奈々香
曾於高等学校 2 年	稲留 安織		

入選 26 名

末吉小学校 2 年	池田 純一	諏訪小学校 6 年	稲田 煌明
諏訪小学校 6 年	谷川 煌来	諏訪小学校 5 年	勝山 遥太
諏訪小学校 3 年	大迫 夏井	諏訪小学校 2 年	山下 大翔
諏訪小学校 1 年	五位塚 陸	光神小学校 6 年	地主園いちか
光神小学校 6 年	柞木 愛琉	光神小学校 4 年	栄留 琉生
光神小学校 2 年	肝付 裕太	光神小学校 1 年	竹ノ井蕾花
高岡小学校 4 年	佐野うらら	高岡小学校 4 年	福山 ゆい
高岡小学校 3 年	西田 颯真	恒吉小学校 6 年	谷口 心音
恒吉小学校 6 年	橋元 奈々	恒吉小学校 5 年	赤崎 宗司
恒吉小学校 5 年	中原 啓介	月野小学校 3 年	瀬戸口康介
月野小学校 1 年	津田 悠斗	大隅南小学校 5 年	中島 翔太
財部小学校 6 年	押川 夢未	財部小学校 6 年	渡邊 理湖
財部小学校 5 年	東丸 友香	財部北小学校 6 年	川辺 樹里



地域福祉活動に永年にわたり、功績のあった方々へ曾於市社会福祉協議会会長表彰、福祉団体長表彰、8020 達

社会福祉法人曾於市社会福祉協議会 会長表彰

●表彰の部●（敬称略）

民生委員・児童委員 17 名

民生委員・児童委員として、長年その職務に従事し、功績があった方

岩崎 惇子 森岡 睦子 羽嶋さなゑ 竹元 澄昭 能口 律子 榎田 淳子 森山 澄秋 大高 良博
田中ゆみ子 富岡みどり 海野 真弓 朝倉 知恵 藤崎ミチ子 西田 貴子 藤野 洋子 末永 俊郎
坂口 利幸

社会福祉施設の長及び職員並びに相談員等 6 名

社会福祉施設の職員として、長年その職務に従事し、功績のあった方

本村 夏紀 長谷川拾子 長峯 桂子 岩崎百合恵 井之口梨佳 伊崎 和代

社会福祉団体等の役職員 10 名

社会福祉団体等の役職員として、長年在職され、功績があった方

川村 省一 重水たつ子 徳地 順子 小園 るみ 井之元邦子 持留 順子 稲留美穂子 上杉ひとみ
亀元美代子 吉村 理恵

ボランティア及びボランティア団体 2 名

徳増 且子 八木 光子

在宅福祉アドバイザー 12 名

在宅福祉アドバイザーとして、地域の中で援護を必要とする方々への声かけや見守りを行い、その活動が他の模範となる方

中崎 久丸 岩満 茂木 澤 節子 藤田 直美 吉村 洋子 末川 久子 桐野 ナヨ 飯屋 ミエ
山口 迪子 坂口 良友 宮脇 俊子 平牟禮範子

地域篤行者 2 名

地域福祉社会のなかで、その篤行が顕著であり、特に市民の模範となるにふさわしい方

宮原美智子 柿元 ミツ

●感謝の部●（敬称略）

献身的介護者 8 名

長年にわたり、献身的に介護されている方

脇田 咲子 愛甲美代子 窪田美瑠子 浅田 修 浅田 恵子 大津 孝平 大津多喜子 久永 一枝

福祉作文・ポスター表彰

●福祉作文部門●（敬称略）

最優秀賞 2 名

光神小学校 5 年 山田 一輝 財部中学校 2 年 平田 桜子

優秀賞 5 名

菅牟田小学校 4 年 江口 亮 末吉中学校 3 年 和田真里奈 末吉中学校 2 年 松永 誠弥
大隅中学校 2 年 藤 直也 大隅中学校 2 年 谷口 文音

入選 18 名

光神小学校 6 年	地主園いちか	光神小学校 1 年	郡山 愛優	岩北小学校 5 年	松下 彩乃
深川小学校 6 年	徳永 煌介	深川小学校 4 年	森山 心暖	深川小学校 3 年	吉永 昊汰
月野小学校 6 年	上門征太郎	財部小学校 6 年	上野園舞桜	大隅中学校 3 年	市瀬 実夢
大隅中学校 2 年	中村 彩乃	大隅中学校 2 年	菊池亜莉紗	大隅中学校 2 年	永野照太郎
大隅中学校 2 年	望岡 楓	財部中学校 3 年	山元 大生	財部中学校 3 年	年神由希菜
財部中学校 2 年	白川 日菜	財部中学校 2 年	戸高 彩菜	白鳥 明信	

●福祉ポスター部門●（敬称略）

最優秀賞 3 名

諏訪小学校 6 年 内 拓磨 末吉中学校 2 年 永窪瑠々茜 曾於高等学校 2 年 前田 恭子

優秀賞 6 名

諏訪小学校 6 年	宮崎 一正	諏訪小学校 5 年	淵合 駿介	諏訪小学校 2 年	大窪 梓詠
光神小学校 3 年	福重 花蓮	高岡小学校 4 年	新田 拓海	財部小学校 6 年	田川 笑有
末吉中学校 2 年	和泉 鈴	末吉中学校 2 年	峯崎龍魅華	末吉中学校 2 年	谷川 日菜
曾於高等学校 2 年	津曲 胡桃	曾於高等学校 2 年	假屋 麗	曾於高等学校 2 年	濱田 莉々
曾於高等学校 2 年	山口 季羅	曾於高等学校 2 年	渡邊木乃美		



最優秀賞福祉作文【小学生の部】

「思いやる喜び」

曾於市立光神小学校 五年 やまだ かずき 山田 一輝

今年から、ぼくが登下校のはん長だ。そして、ぼくのはんには、新しく一年生が入った。ぼくは、一年生をしつかり学校に連れて行けるか不安だった。

一年生を連れての初めての登校の日。集合場所に行くと、一年生の女の子が、お母さんといつしよに待っていた。

「おはよう。」と声をかけると、一年生は返事をしてくれなかった。まだきんちようししている様子だったので、なぜかぼくも、きんちようした。ぼくのはんには、もう一人三年生の女の子がいる。一年生は、最初は静かだったけど、三年生の女の子と合流してから、楽しそうに登校していた。さらに、その日の下校は、他のはんの一年生と楽しそうにしていたので、もう大丈夫だと思った。しかし、登校を続けるうちに一年生が、「つかれた。」と言い始めて、歩かなくなった。ぼくは、この言葉を聞いてやんだ。

これまで、登校は三年生の女の子と、下校では他のはんの一年生といつしよに楽しそうにしていたのに、まさか歩かなくなるとは思わなかった。考えていると一つ方法を思いついた。それは、一年生を楽しませて登下校させることだ。ぼくはお笑いが好きだ。テレビで見ていると、いつのまにか手をたたいて大笑いしてしまう。だから、ぼくはいつもおもしろいことや楽しいことを考えているのだ。そこで、ぼくはものまねや変顔をして笑わせてみた。すると一年生は、「おもしろい。」と顔をくしゃつとさせて大笑いしてくれた。つかれたという気持ちをわすれているようだった。ぼくも一年生が笑ってくれてうれしくて心が温かくなった。ぼくのお笑い大作戦は、大成功だった。

一年生と三年生の二人の女の子と登下校は毎日続けている。今でもちよつと一年生のわがままはあるけど、楽しく登下校している。しかし、こまったことが起きている。それは、ぼくが考えた、「一年生を楽しませてあげて、登下校する」という考えは、今は、ちよつとあきらめられ始めているということだ。そこで、さらに考え、作戦変こう。今度は歌を歌って一年生を楽しませるという作戦だ。これでまだ大丈夫。ぼくがここまで努力することが出来るのも最初に、「一年生を楽しませて登下校させる」という作戦を思いついたからだ。このように、人に思いやりを持って接すると、相手が喜ぶ。その喜ぶ顔を見るとぼくもうれしくなる。

二人の女の子を連れて登下校してまだ二ヵ月。もっと、たくさんの作戦を考え、一年生をしつかり、そして楽しく学校に連れて行けるようになりたい。



最優秀賞福祉作文【中学生の部】

「親切による効果」

曾於市立財部中学校 二年 ひらた さくらこ 平田 桜子

この頃、孤独死という言葉がニュースで聴くことが増えてきた気がする。孤独死というのは、主に一人暮らしの人が誰にも看取られることなく、当人の住居内などで生活中の突発的な疾病などによって死亡することだそう。少子化、未婚率の上昇など様々な事情から家族と世帯を共にしない高齢者が増えていくなか、多くの高齢者が孤独死の問題に直面している。このような悲しい孤独死の少ない社会にするためには、私たちはどのようなことができるのだろうか。

私の祖母は、現在一人暮らしをしている。その祖母は、この間ぎっくり腰になってしまった。しばらくの間一人で起き上がるのも困難な状態になってしまった。車で十五分くらいのところに住んでいるとはいえ、私の母も仕事や家族のこともあり、毎日手伝いに行くことは難しい状況だった。そんな中、祖母を支えてくれたのは近所の人たちや通っている趣味の教室の友人たちだった。「今日は近所の方が自分の買い物ついでにすぐ食べられそうなものを買ってきてくれたよ。」「今日は友人がコルセットを一緒に買いにいつてくれたよ。」などと、祖母から母に毎日電話が来て報告があった。その話の中には、起き上がるのも一苦労で寝たきりの状態が続き、四つん這に近い恰好で近くのいすや机に捕まりながら歩くのも、トイレに行くのもやつとで食欲も日になくなっている、もうこんな自分がなさけなくていやだと弱気な発言もあった。落ち込んで元氣のない祖母を元氣づけたのは、みんなの心優しい親切な言葉や行動だったのだと思う。祖母は日頃から多くの人々と関わりを持ち、趣味の教室で役員をするなど人の世話もよくしていた。

こういう日々の積み重ねのおかげで今回のような困ったとき、たくさんの助けをもらうことができたのだと思う。

私は人と接することが苦手な人を見かけたとき、助けてあげたいという気持ちになっても行動にうつす勇気が持てない。今後、勇気をもって行動にうつす努力をしたり、地域の人たちとの交流を大切に、人に対して優しい気持ちで親切にしていきたいと思う。そういう日頃の積み重ねが、孤独死を少なくする小さな一歩になると私は考える。

曾於市ボランティア・市民活動センターより

ほっと ぼらんていあ

つながれ！ほっといしー



福岡県東峰村災害ボランティアセンターでの活動支援を終えて



福岡県朝倉郡東峰村に設置された災害ボランティアセンターの宝珠山サテライトで、8月2日から8月5日まで計4日間、運営業務の活動支援を行って参りました。

災害が発生しボランティアの受け入れが必要となった場合、被災した地域の社会福祉協議会は災害ボランティアセンターを設置します。今回は、大雨による被害があまりにも大きかったため、九州各地の社会福祉協議会から支援に赴き、センターの運営に協力をしました。

住民から寄せられた支援してほしいところ（困り事）に全国各地から来られるボランティアの方々を結びつける事が災害ボランティアセンターの主な役割です。住民の方から寄せられた困り事としては、泥に飲まれてしまった家財道具の持ち出し、床下・床上に流れ込んでしまった泥の撤去、用水路等の水路に流れ込んでしまった泥の撤去などが主なものでした。

受付開始の午前9時前からボランティアの方が県内外から来られており、改めてその行動力に驚かされ、日中の猛暑の中でのボランティア活動を終えて戻られる時も「また時間を作って来ます」と声をかけていただき、心を打たれました。

ボランティアの方に活動をしていただくために被災した家屋の調査に向かう事も多く、被災者の方と直接会ってお話をする機会もありました。

話を聞いていると「近くの沢からあふれた水がだんだん増えてきたが見ている事しかできなかった」「全部流されてしまっ…」といった災害当時の様子が見えるような言葉に、どれだけ私達が力になれるのか日々考えさせられました。

今になって、もっとボランティアさんが活動しやすいように計画を立てることができたのではない



いか、もっと被災者に寄り添った支援が出来たのではないかと反省するばかりです。

本会では災害を想定した災害ボランティアセンター設置運営訓練等も実施しています。今回の経験を今後に生かしていきたいと思います。



総務課 若松 裕也



総務課 渡邊 丈志

一般介護予防事業「健康体操教室」がオープンしました

「健康体操教室」は市の一般介護予防事業として実施するもので、7～8月にかけて、財部、大隅、末吉地区それぞれ1ヶ所ずつオープンしました。どの教室においても、社会福祉協議会のスタッフとともに、介護予防サポーター、ボランティアの方が主体的に運営に関わっていただき、ストレッチ運動やゴムバンドを使った体操（筋力運動）を行っています。参加される方々は体操だけではなく、自分で準備や後片づけなどの役割を持って、おしゃべりもしながら楽しく取り組まれています。

「駅前サロン」（財部地域）



「にここにこ体操教室」（末吉地域）



「岩元体操教室」（大隅地域）



●一般介護予防事業 健康体操教室とは・・・

【目的】 年齢や心身の状態等に関係なく、「住民主体の通い」の場を充実させ、人と人とのつながりを通じて参加者や通いの場を継続的に拡大していくような地域づくりを推進するとともに、要介護状態になっても生きがいと役割をもって生活できる地域をつくることで、要介護状態等となることを予防する等「介護予防」を推進することを目的とします。

【対象者】 曾於市内のすべての高齢者が対象です。

【実施地域】 歩いて通える距離の地域の会場（公民館等）で行います。

平成29年度は、曾於市内12地区で実施予定です

【実施期間】 平成29年7月～平成30年3月

【実施回数】 週1回

【運営方法】 開始から2カ月は、曾於市社会福祉協議会職員が指導し、3カ月目は地域のボランティアが活動をフォローし、4カ月目からは地域住民が主体となって活動を継続してもらいます。

【体操内容】 ゴムバンドを活用した予防運動を1時間程度行います。

※ゴムバンドは初回のみ参加者に支給されます。

心配ごと相談所開設のお知らせ

心配ごと相談は、相談員が地域の皆様の日常的な不安や悩みなどの相談に応じ、解決のお手伝いをします。相談内容によっては、専門機関へおつなぎします。

10月～11月の
心配ごと相談日

と き 毎週木曜日
9:30～12:00

ところ

【財部】財部保健福祉センター
【末吉】末吉中央公民館
【大隅】大隅中央公民館

	10月	5日	12日	19日	26日
相談員	財部	上村・橋本	鎌原・柳田	上村・棚木原	児玉・柳田
	末吉	竹石・吉田	原田・羽嶋	田代・竹石	吉田・羽嶋
	大隅	前田・佐伯	鮫島・上門	大村・佐伯	鮫島・山口
	11月	2日	9日	16日	30日
相談員	財部	橋本・鎌原	上村・柳田	橋本・児玉	棚木原・児玉
	末吉	山内・竹石	吉田・原田	田代・羽嶋	山内・原田
	大隅	前田・大村	上門・佐伯	鮫島・前田	山口・上門



ひとりで悩まないで

弁護士による無料福祉相談窓口

誰に相談したらいいの？借金が多額になり支払いが大変だ。離婚について相談したい。交通事故に遭ってしまった。大事な人が亡くなって遺産をどうしたらいいのかわからない。突然仕事を解雇された。家賃を支払ってもらえない。

様々な問題のご相談を鹿児島県弁護士会所属の弁護士有志で結成した「ひまわりの会」の弁護士（現在10名在籍）がお受けします。

◎窓口開設の日程は？

毎月第3木曜日 午後1時から4時までとなっております。（完全予約制）

会場	そお生きいき健康センター	大隅弥五郎伝説の里	財部保健福祉センター
相談日	平成29年11月16日	平成29年9月21日	平成29年10月19日

◎相談方法は？

弁護士による面談です。

◎相談料はいくらですか？

料金は無料です。（相談者からは頂いておりません。）

◎申し込みはどうするのですか？

事前に予約が必要です。「ひまわりの会 事務局」までご連絡ください。

☎ 099-227-0041（受付：平日9時～17時） 代表弁護士 山口 政幸 鹿児島市山下町12番17号 2階

お掃除サポート事業のご案内

この事業は、曾於市内で暮らす障がいをお持ちの方を対象に、年末年始のご自宅の掃除をお手伝いするものです。皆様からご協力いただいた赤い羽根共同募金のうち歳末たすけあい募金を財源に曾於市社会福祉協議会が助成を受けて行います。

高いところや細かな部分まで手が回らず、お困りのことはないでしょうか。ぜひ「お掃除サポート事業」の利用をご検討ください。

事業の対象を教えてください。

障がい児・者（手帳保持者）がお住まいのご自宅が対象になり、100件を予定しています。

そうじしてもらえる時期は、いつごろになりますか？

10月2日から平成30年1月31日までの期間で、個別に調整して日程を決めます。

誰がどこをどのくらい掃除してくれますか？

- ・専門業者の清掃員2名が、ご自宅の掃除をします。
- ・清掃箇所は、①シンク周り、②換気扇、③トイレ、④洗面所、⑤お風呂、⑥窓ガラス、⑦ガラスサッシのみです（①～⑦以外の作業はお受けできません）。
- ・清掃時間は8時～12時（午前）又は13時～17時（午後）のどちらか半日です。

自己負担は、いくらくらいになりますか？

個人負担はありません（無料）。

申込みは、いつまでにすればよいですか？

9月15日（金）から100件に達するまで、随時受け付けます。早めにお申し込みください。

手帳に記載された内容をお尋ねしますので、手元に準備して下記にお電話ください。



申込みや
問合せ

曾於市社会福祉協議会 本所 ☎ 0986-72-0460・72-0480（担当）森山
末吉支所 ☎ 0986-76-2224（担当）富田・大石 大隅支所 ☎ 099-482-3013（担当）八木

たくさんの善意に感謝いたします。

本会では、この善意を市民の皆様の福祉向上のために大切にに使わせていただきます。なお、本紙への掲載につきましては、寄附者の承諾を得てご希望どおりに寄附者名簿を掲載しております。

香典返し寄附金（敬称略）（平成 29 年 7 月 1 日～8 月 31 日）

財 部 地 区	未 吉 地 区	大 隅 地 区
松山 俊幸 上藤ヶ迫	岡留 保巳 下新地	新 ナリ子 東旭ヶ丘
福留ヨシ子 田 平	竹内 政子 掛 上	鶴田 幸子 新 城
山之口一美 芝 立	今西 修一 国原西	和田 律子 広津田
堀内テル子 上大峯	豊田 雪子 新 原	安田 満 東旭ヶ丘
岩崎ミツ子 中正ヶ峯	古川計佐吉 高 松	中村 敏子 大 迫
生山 洋子 川 内	中村 辰也 有持下	吉崎 正弘 久保崎
井上 睦子 下大川原	匿名 1 件	匿名 1 件
匿名 1 件		

一般寄附金品（敬称略）（平成 29 年 7 月 1 日～8 月 31 日）

未 吉 地 区	大 隅 地 区
旧絵画若葉会 5,000 円	大隅町長寿会女性部 大隅デイサービスセンターへ雑巾 30 枚 坂元長寿クラブ より愛さかもとへ雑巾 50 枚

曾於市共同募金 委員会より

平成 29 年度
赤い羽根共同募金運動が
始まります

共同募金は、赤い羽根をシンボルに「赤い羽根共同募金」として地域の方々に親しまれており、毎年 10 月 1 日から 12 月 31 日までの期間、全国で多くの方々にご協力をいただいています。

曾於市内におきましても、毎年皆様から心温まるご協力をいただいておりますことに心からお礼申し上げます。本年度におきましても皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

共同募金は、地域の福祉のまちづくりのための貴重な財源となります。



編 集 後 記

暑い夏が終わり、朝晩がやっと涼しくなってきましたが、日中はまだまだ暑い日が続いていますので、皆さんも油断することなく暑さ対策をとられてくださいね。

私は出産を経て仕事を始め約半年が経ちますが、子育てとの両立に毎日バタバタしています。ただ、ありがたいことに義母や義妹に助けられて生活ができています。困ったときに、「手伝って」と言えて、助けてくれる人がいる。もし、身近に協力者がいなければ今の生活はありえないと思います。

私は地域福祉コーディネーターとして、地域の皆さんが気兼ねなく助けを求めることができ、助ける側もスムーズに手を差し伸べられるような、そんな曾於市になるよう一生懸命に取り組んでいきたいと思っています。

M・M